

# 第四次国有林野施業実施計画 第二次変更計画書

(十勝森林計画区)

計画期間 ( 自 平成26年4月 1日  
至 平成31年3月31日 )

策 定 年 月 日 : 平成26年3月28日  
第一次変更年月日 : 平成27年3月30日  
第二次変更年月日 : 平成28年3月28日

北海道森林管理局

## 十勝森林計画区の第四次国有林野施業実施計画の変更について

### 【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- 1 施業方法の精査により、主伐箇所の伐採方法及び更新方法の変更に伴い、水源涵養タイプにおける施業群別面積等及び水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積を変更する。
- 2 森林整備の必要箇所の精査により、人工林の主伐に係る伐採箇所及び更新箇所の追加等から伐採総量、更新総量及び保育総量を変更する。
- 3 新たに「遊々の森」、「社会貢献の森」及び「多様な活動の森」の協定の締結をしたことから箇所及び面積を変更する。

なお、本変更計画は、平成28年4月1日から適用する。

### 【変更項目及び頁】

2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量		
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	(1)	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	(2)	2
	(4) 伐採総量	〈施実変更3〉	2
	(5) 更新総量	〈施実変更6〉	7
	(6) 保育総量	〈施実変更6〉	7
8	その他必要な事項		
	(2) フィールドの提供	(17)	9

注：1 ( )書きは、十勝森林計画区の第四次国有林野施業実施計画書、〈 〉書きは第一次変更計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

【現行計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	11,310	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。  【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	9,020	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。  【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	5,240	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	26,922	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	15年	
育成天然林施業群	104,982	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	57,883	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。  【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	215,357			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【現行計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	898	443	1,231	8,961	34,994	19,294

(4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	林			地		林地 以外	合 計	
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
山地災害防止タイプ	5,979	(2,483) 89,625	95,604					
自然維持タイプ	81	(236) 10,286	10,367					
森林空間利用タイプ	453	(176) 6,879	7,332					
快適環境形成タイプ	-	-	-					
水源涵養タイプ	単層林	(3,149) 43,787	153,792					197,579
	長期単層林	(3,041) 6,651	122,644					129,295
	複層林	(1,630) 69,790	66,827					136,617
	混交林	(7,030) 8,941	339,013	347,954				
	育成天然林	(355) 81,225	14,305	95,530				
	天然生林	-	-	-				
	計	(15,205) 210,394	696,581	906,975				
合 計	216,907	(18,100) 803,371	1,020,278	205,000	1,225,278	-	1,225,278	
年 平 均	44,344	(3,653) 161,973	206,317	42,000	248,317	-	248,317	

注1) 上段( )は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【現行計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m<sup>3</sup>、h a)

区 分	林			地		林地以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
帯広市	1,763	(623) 20,825	22,588				
音更町	-	-	-				
士幌町	-	-	-				
上士幌町	5,709	(1,286) 47,719	53,428				
鹿追町	563	(661) 22,654	23,217				
新得町	2,944	(3,385) 124,036	126,980				
清水町	4,071	(517) 19,020	23,091				
芽室町	4,062	(873) 29,468	33,530				
中札内村	482	(270) 7,936	8,418				
更別村	5,094	(91) 2,996	8,090				
大樹町	17,574	(1,629) 53,496	71,070				
広尾町	6,710	(1,308) 51,097	57,807				
本別町	41,838	(843) 51,040	92,878				
足寄町	90,630	(4,348) 249,249	339,879				
陸別町	35,467	(2,266) 123,835	159,302				
合 計	216,907	(18,100) 803,371	1,020,278				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段( )の数値は間伐面積(h a)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

【変更計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	11,279	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。  【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	8,959	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。  【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	5,461	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	26,793	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	15年	
育成天然林施業群	104,982	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。  【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	57,883	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。  【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	215,357			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【変更計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	896	440	1,352	8,918	34,994	19,294

(4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	林			地		林地以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	5,979	(2,483) 89,625	95,604				
自然維持タイプ	81	(236) 10,286	10,367				
森林空間利用タイプ	453	(176) 6,879	7,332				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(3,149) 44,872 153,792	198,664				
	長期単層林	(3,041) 6,651 122,644	129,295				
	複層林	(1,630) 69,790 66,827	136,617				
	混交林	(7,030) 8,941 339,013	347,954				
	育成天然林	(355) 81,225 14,305	95,530				
	天然生林	-	-	-			
計	211,479	(15,205) 696,581	908,060				
合計	217,992	(18,100) 803,371	1,021,363	205,000	1,226,363	-	1,226,363
年平均	44,706	(3,653) 161,973	206,679	42,000	248,679	-	248,679

注1) 上段( )は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【変更計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m<sup>3</sup>、h a)

区 分	林			地		林地以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
帯広市	1,763	(623) 20,825	22,588				
音更町	-	-	-				
士幌町	-	-	-				
上士幌町	5,709	(1,286) 47,719	53,428				
鹿追町	563	(661) 22,654	23,217				
新得町	4,029	(3,385) 124,036	128,065				
清水町	4,071	(517) 19,020	23,091				
芽室町	4,062	(873) 29,468	33,530				
中札内村	482	(270) 7,936	8,418				
更別村	5,094	(91) 2,996	8,090				
大樹町	17,574	(1,629) 53,496	71,070				
広尾町	6,710	(1,308) 51,097	57,807				
本別町	41,838	(843) 51,040	92,878				
足寄町	90,630	(4,348) 249,249	339,879				
陸別町	35,467	(2,266) 123,835	159,302				
合 計	217,992	(18,100) 803,371	1,021,363				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段( )の数値は間伐面積(h a)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。



【現行計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	9	-	1	-	70	80
	複層林造成	187	-	-	-	1,041	1,228
	計	196	-	1	-	1,111	1,308
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	318	318
	天然下種第2類	-	4	-	-	2,268	2,273
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	4	-	-	2,586	2,591
合 計		196	4	1	-	3,697	3,899

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	1,756	-	15	-	20,238	22,009
	つる切り	62	102	10	-	2,456	2,630
	除 伐	41	67	6	-	1,636	1,750

【変更計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	9	-	1	-	71	81
	複層林造成	187	-	-	-	1,041	1,228
	計	196	-	1	-	1,112	1,309
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	318	318
	天然下種第2類	-	4	-	-	2,268	2,273
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	4	-	-	2,586	2,591
合 計		196	4	1	-	3,698	3,900

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	1,756	-	15	-	20,243	22,014
	つる切り	62	102	10	-	2,456	2,630
	除 伐	41	67	6	-	1,636	1,750

【現行計画】

8 その他必要な事項

(2)フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
十勝東部森林管理署		
1026 り1 お	ふれあいの森 (憩いの空間 水源の森)	協定面積137.40ha 陸別町
十勝西部森林管理署		
2115 い～に 2116 い～り	遊々の森 (カムイコタン歴舟の森)	協定面積220.17ha 大樹町教育委員会
十勝西部森林管理署東大雪支署		
198 り1	ふれあいの森 (ミュビゲラの森)	協定面積7.80ha 十勝三股森づくり 2 1
198 め	社会貢献の森 (十勝三股の森)	協定面積0.25ha 十勝三股森づくり 2 1
59 ろ 98 わ	社会貢献の森 (ひがし大雪源流の森づくり)	協定面積0.20ha NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
1051 ろ	社会貢献の森 (源流部の森・ペンケニコロ)	協定面積0.13ha 十勝川源流部を考える会
1196 に 1192 に1	社会貢献の森 (源流部の森・トムラウシ)	協定面積0.50ha 十勝川源流部を考える会
163 い イ	遊々の森 (大雪山ふれあいの森ほろか)	協定面積49.76ha NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
1301 へ	遊々の森 (トムラウシ散策路)	協定面積4.40ha 新得町教育委員会
1292ろ・1289は・は1 1126お・お2・1108ほ 1236ろ	多様な活動の森 (トムラウシの森)	協定面積7.00ha (株)ドリームヒル・トムラウシ
森林計画区合計		面積：427.61ha

【変更計画】

8 その他必要な事項

(2)フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
十勝東部森林管理署		
1026 り1 お	ふれあいの森 (憩いの空間 水源の森)	協定面積137.40ha 陸別町
十勝西部森林管理署		
2115 い～に 2116 い～り	遊々の森 (カムイコタン歴舟の森)	協定面積220.17ha 大樹町教育委員会
十勝西部森林管理署東大雪支署		
198 り1	ふれあいの森 (ミュビゲラの森)	協定面積7.80ha 十勝三股森づくり 2 1
198 め	社会貢献の森 (十勝三股の森)	協定面積0.25ha 十勝三股森づくり 2 1
59 ろ 98 わ	社会貢献の森 (ひがし大雪源流の森づくり)	協定面積0.20ha NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
1051 ろ	社会貢献の森 (源流部の森・ペンケニコロ)	協定面積0.13ha 十勝川源流部を考える会
1196 に 1192 に1	社会貢献の森 (源流部の森・トムラウシ)	協定面積0.81ha 十勝川源流部を考える会
163 い イ	遊々の森 (大雪山ふれあいの森ほろか)	協定面積49.76ha NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
1301 へ	遊々の森 (トムラウシ散策路)	協定面積4.40ha 新得町教育委員会
44に・ほ・ほ1・レ	遊々の森 (小鳥の村)	協定面積4.26ha 上士幌町教育委員会
1292ろ・1289は1 1108ほ・1236ろ 1100ろ・は・に 1128と	多様な活動の森 (トムラウシの森)	協定面積10.00ha 新得町、(株)ドリームヒル・トムラウシ
森林計画区合計		面積：435.18ha